

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年07月24日

計画の名称	岡崎市における歴史的風致の維持向上とまちづくりの推進												
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	岡崎市												
計画の目標	歴史的な街なみや建造物等の保存・修景等、本市固有の歴史文化資産が織り成す「歴史的風致」を守り育て、美しく風格ある岡崎を創生する。 そして、訪れる人々に感動を与えられるようなまちづくりを行い、地域の活性化や観光振興を推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	459	A	455	B	0	C	4	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.87	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R8当初
1	本地区の歴史的資源に関する市民満足度評価を59%(R3)から65%(R8)に拡大 「本地区の歴史的資源の豊かさ」に対する市民意識調査による評価(アンケート調査により、「大いに感じる」又は「それなりに感じる」と回答した人の割合)	59%	%	65%
2	観光客数として岡崎城の入場者数を19.6万人(R1)から20万人(R8)に拡大 岡崎城入場者	196075人/年	人/年	200000人/年
3	「景観法」に基づく「景観重要建造物」及び「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づく「歴史的風致形成建造物」の指定件数を22件(R3)から27件(R8)に拡大 景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物の指定件数	22件	件	27件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	岡崎市	直接	岡崎市	-	-	岡崎城下及び東海道地区 街なみ環境整備事業	街なみ環境整備事業844ha 電 線類地中化、道路美化、歴 史的風致形成建造物整備、案 内板整備	岡崎市						406	1.06	-	
	A16-002	住宅	一般	岡崎市	間接	民間	-	-	岡崎城下及び東海道地区 街なみ環境整備事業	街なみ環境整備事業844ha 景 観重要建造物修理・修景事業 ・歴史的風致形成建造物修理 ・修景事業、まちなみ景観修 景事業	岡崎市						49	1.06	-	
												小計						455		
												合計						455		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	岡崎市	直接	岡崎市	-	-	歴史まちづくり普及啓発事業	歴史まちづくり映像制作	岡崎市						4	-	
		市民の歴史まちづくりに対する啓発を図る。																	
											小計						4		
											合計						4		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	35				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	35				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	35				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					